



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066

東京都新宿区市谷台町 14-5

MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局

電話：03 (3225) 5600

FAX：03 (3354) 0046

URL：<https://www.zennancho.or.jp>

E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいた



10月15日(土)、笠置宏美さんの司会で開始され、歓迎あいさつは小倉鉄郎実行委員長、主催あいさつは新谷理事長からありました。来賓祝辞は富原博厚労省室長補佐、地元開催県として大分県健康福祉部部長山田雅文様、大分市副市長久度晃様、全国要約筆記問題研究会山岡千恵子様からいただきました。表彰では滋賀県板垣幸男様、福岡協会永末淑子様、愛知協会飯室俊夫様、東京都協会小笠原晶子様が理事長より表彰状と記念品の授与がありました。大会決議は宿谷副理事長より読み上げられ、採択されました。

次いで、全体会では、日本言語聴覚士協会会長深浦順一様に「言語聴覚士から見た難聴者への対策に関する課題と展望」と題し、ご講演いただきました。

この日は、Youtubeによるライブ配信を実施したところ、全国で視聴会を開いていただいた加盟協会もありました。現地参加者は220名。Youtubeライブ中継は最高同時視聴者数180名でした。全国の多くの皆様にご支援いただき、開催することができました。ありがとうございました。

第1分科会

10月16日(日)、第1分科会は、大分県難聴者協会の企画で「減災計画と災害体験から見える聴覚障害者の災害支援」をテーマに開催。

大分県内で障害者の防災啓発活動の第一人者である村野淳子氏を座長に、難聴者当事者による災害体験発表。また、大分県在住のスーパーボランティア 尾畠春夫氏のミニ講演があり、参加者の皆様にはパワフルな尾畠氏を肌で感じていただけたと思います。

第2分科会

第二分科会は補聴医療対策部と国際部の合同企画、「ネパール支援で得た新知見から：きこえの健康支援における新時代の意思疎通支援の在り方を考えよう」というテーマで開催されました。

今回は、難聴のある人々に対する究極の情報保障、身近な存在である障害者権利条約（CRPD）、社会モデルに沿ったきこえの健康支援構想について理解を得ることがポイントでした。まず国際会議でも難聴のある人々に合わせた情報保障が可能であることをネパール難聴者・失聴者協会のご協力を得て実演しました。

実演ではCRPD勧告を受けたネパール国内の活動についてお話いただきました。

次に今年ジュネーブで行われたCRPDの日本審査の様子について報告がありました。

全難聴の長年の悲願であるデシベルダウンに関して権利条約委員会からデシベル中心の医学モデルからの脱却を日本政府に求める勧告が出された旨説明がありました。

さらにCRPDが各々のニーズに応じて支援するものであることを確認しました。

ニーズに応じた支援構想にきこえの健康支援の存在についても説明がありました。

最後に複雑な配線にもかかわらず、真摯に準備してくださった実行委の方々に深くお礼申し上げます。

第3分科会

手話対策部の担当で「難聴者にとっての手話『手話を学んで自分の可能性を広げよう』」と題して開催。最初に部長の橋本より「手話を覚えたいと思う難聴者を一人も取り残さない取り組みを広げたい」と挨拶。

その後、全難聴理事長の新谷氏による「私と手話」と題する講演があり、1時間にわたりご自身の手話との関わりを話されました。休憩後、難聴者3人、手話通訳士1人のパネラーによって熱心にディスカッションしました。それを受けて、座長の蔦尾氏（和歌山）が「全難聴手話対策部と地方の協会が力を合わせて、各地に難聴者の手話教室を広めよう」と締めくくられました。分科会の参加者は62名。

湯布院散策観光ツアー

10月17日（月）は、湯布院散策観光ツアーを実施、お天気はいま一つでしたが、雨の合間を縫って湯布院を満喫いただけたと思います。

女性部バザー

女性部は福祉大会でバザー販売をおこなっています。コロナ禍で2年間中止となったことで、バザー販売も3年ぶりとなりました。私たち役員も気合が入って臨みました。

役員は前日（金曜日）から現地入りして、事前に提供品の連絡があった女性部、窓口の荷物が無事届いているかチェックし、値札の無い商品には値札を付ける作業をして、バザー品の陳列の方法等を確認します。

小倉実行委員長並びに実行委員の皆様のご配慮により出入り口の正面に販売場所（特等席）を提供していただきました。手間暇のかかった手作り品のホワイトボードから日用品等どれも格安です。15日、16日の両日には多くの方が覗いてくださって売れ行きも上々でした。売り上げ、協力金、寄付金を合わせて64,340円得ることができました。

この売り上げは、ひとえにバザー品を提供して下さった女性部、窓口と購入していただいた参加者の皆様のおかげで多くを得ることができました。この書面をお借りしてお礼申し上げます。尚、この収益は女性部、窓口の皆様に還元できるよう有意義な活動に充てていきます。ご協力ありがとうございました。

耳マーク部

大会初日(10/15)と二日目(10/16)の展示販売のために、耳マーク部員有志が、前日(10/14)に会場入りして、耳マークグッズを展示・販売するスペースの設定と、白浜ひらひらTシャツ展に出品した耳マーク入りTシャツの展示(物干し台をセッティングし、ロープを渡して、TシャツをT字型にずらりと並べて展示)に、汗を流してくれました。

このTシャツが好評で、「購入したい」という希望者がおられました。制作販売は既に終了していることもあって、そうした希望にこたえて、Tシャツの持ち主から複数枚の無償提供がありました。そこで、来場者にくじを引いてもらい、当たりくじの人に翌日決められた時間に集合してもらいました。定刻までに集合した6名で、じゃんけんに勝った順番に、お好みのデザインを選んでもらい、プレゼントしました。Tシャツをゲットした人たちの笑顔が、何よりの収穫でした。耳マーク普及啓発活動に有効活用していただけることでしょ。

恒例の耳マークグッズは、ほどほどの売れ具合でした。ネットを賑わせている販売開始間近な「ノートラブル」製品の見本展示や、ヒノキで制作した耳マーク入り香るホルダー、耳マークスタンプ(お試してマスクへスタンプする人が続出)、耳マーク入りガラス製品のグラス・イヤリング・キーホルダーなどのオリジナル見本製品の展示も、充実していました。

全難聴からは、振動体温計の見本展示や書籍、冊子の無償提供などもあり、スペースが不足するほどでした。参加した耳マーク部員全員で頑張った二日間でした。

↑ 優生保護法問題の全面解決をめざす 10.25 全国集会



～命に優劣はない!優生思想を断ち切り差別の無い未来へ!～

ステージ右側には、要約筆記も情報保障として付けられました。全国から1300名、インターネット配信で1000人ほどの視聴がありました。来年、裁判の判決も出揃うことや今後提訴に踏み切る方々も増加することが予想されています。

📌 電話リレーサービス、新機能「字幕付き電話(CTS)」の開発

昨年から電話リレーサービスが開始されていますが、総務省の「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する基本方針」では、「電話リレーサービスに関連する技術の調査研究等」の規定があり、「電話リレーサービスの提供については、将来的に音声認識技術やAI等の進歩により、人を介さず効率的に実現される可能性がある。このため、電話リレーサービス提供機関は、必要に応じて、電話リレーサービスに関連する技術の調査研究を行うものとする。」とされています。

これを受けて、日本財団電話リレーサービスでは現在字幕付き電話（CTS）開発を進めており、日本財団電話リレーサービスからの協力要請を受けて、全難聴は情報文化部を中心にこの開発に積極的に協力をしております。今後、事業化の進展がありましたら適宜報告してまいります。

📌 第27回全国中途失聴者・難聴者福祉大会in美の国あきた

2023(令和5)年第27回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 美の国あきたは、令和5年11月25日(土)から27日(月)に会場を「秋田市にぎわい交流館 AU(あう)」等にて開催です。稲穂を揺らす大地から未来を越えて咲き誇ろう!~笑顔はじける聴こえの共生社会を目指して~をテーマにしています。

📌 理事の動き(10/1~10/31)

- 10月 3日 9月度 JDF 幹事会(オンライン) (佐野、宿谷、湯浅)
- 10月 5日 第71回障害者政策委員会(オンライン) (宮本)
- 10月 17日 楽天インサイト面談(オンライン) (小川)
- 10月 12日 三菱地所への障害者視点からの商品、街づくりのためのヒアリング(オンライン) (小川)
- 10月 15日・16日 第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいた(出席理事・監事13名)
- 10月 18日 バリアフリー委員会(拡大)(オンライン) (小川)
- 10月 24日 サントリーパブリシティサービスとの打ち合わせ(オンライン)(小川)
- 10月 24日 第72回障害者政策委員会(オンライン)(宮本)
- 10月 25日 新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮検討小委員会(小委員会)(オンライン) (小川)

📌 11月の予定(11/1~11/30)

- 11月 1日 「視聴覚障害者等向け放送の充実に関する研究会」第1回研究会(オフライン)
- 11月 2日 JDF 企画会(オンライン)
- 11月 7日 国連障害者の権利条約推進議員連盟総会
- 11月 10日 駅の無人化(省人化)に伴う利用実態調査ヒアリング(オンライン)
- 11月 17日 情報コミュニケーション4団体連絡会(オンライン)
- 11月 21日 バリアフリー委員会(拡大)(オンライン)
- 11月 28日-30日 シーズ・ニーズマッチング交流会 in 大阪